

2025年3月26日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社UACJへのシンジケーション方式による「グリーンローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、株式会社UACJ（代表取締役：田中 信二/以下、「UACJ」）と、シンジケーション方式によるグリーンローン（以下、「本ローン」）契約を締結いたしました。株式会社三井住友銀行はアレンジャーとしてUACJより指名を受け、本件を組成いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートを通じ透明性が確保されたものを指します。

UACJは、2013年10月にアルミ圧延品首位の旧古河スカイ株式会社と同2位の旧住友軽金属工業株式会社が経営統合して設立されたアルミ圧延国内最大手企業です。同社は、両社が長年培ってきた技術力や製品開発力、充実した製品ラインナップを背景に高い競争力を有しており、アルミニウム圧延品（板製品）の生産能力は年間100万トンを超え、世界トップクラスにあります。

UACJは、「素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。」を企業理念、「アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。」を目指す姿として掲げており、長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」でもサステナビリティ活動を企業経営の中核要素と位置付けています。また、2027年度までの第4次中期経営計画の中でも、成長・付加価値戦略の中で「リサイクルの推進」を最重要課題としKPIの達成に向けてロードマップを策定しており、具体的な取り組み例として、アルミ缶水平リサイクルの推進によるCan to Canの使用率増加、UBC処理設備の立ち上げなどを掲げています。こうした背景を踏まえ、同社は2024年11月にグリーンファイナンス・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）を策定しました。同社が本ローンで調達した資金は、本フレームワークで定められた適格クライテリアを満たす、適格グリーンプロジェクトに充当される予定です。

なお、本フレームワークは、第三者評価として株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際金融業界団体のLMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及びAPLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「グリーンローン原則（2023年版）」、並びに、環境省にて策定された「グリーンローンガイドライン（2024年版）」において求められる項目について基準を満たしているとの評価を得ています。

三井住友銀行では、今後もお客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2025年3月26日
組成金額	60億円
契約期間	7年
アレンジャー	株式会社三井住友銀行、株式会社みずほ銀行
貸付人	アレンジャーが招聘したシンジケート団
資金使途	使用済飲料用アルミ缶(UBC)を分離・溶解一貫処理する設備及びそれらを設置するために必要な建屋

(参考)

株式会社UACJホームページ：

<https://www.uacj.co.jp/index.htm> をご参照下さい。

株式会社日本格付研究所(JCR)による評価結果の詳細：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/> をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

サステナブルソリューション部

TEL：03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。